

授業科目名	会計ファイナンス入門	担当教員 小畠 克典			
必修の区分	必修				
単位数	2 単位				
授業の方法	講義				
開講年次	1年 第3クオーター				
講義内容	<p>どのような職種に就くにせよ、現代の社会システムの中で「おカネ」と無縁に過ごすことは不可能である。この講義では、実社会で「おカネ」と上手に付き合うための基本的知識として、会計（おカネの計測方法の基本ルール）とファイナンス（おカネのマネジメント）の基礎を習得することを目的とする。</p> <p>これまで会計・ファイナンスに触れたことがない学生を念頭に置き、複式簿記の基礎から財務諸表の見方の初歩までをカバーする。</p>				
到達目標	<p>実社会において要求される必要最低限の会計・ファイナンスの基礎知識を身につける（会計の用語・考え方について、日本商工会議所が主催する日商簿記検定3級が要求するレベルと同程度に理解できるレベル）。</p>				
授業計画	<p>第1回 イントロダクション。おカネと付き合うということ</p> <p>第2回 おカネを測るということ。小遣い帳から複式簿記へ</p> <p>第3回 財務諸表の全体像</p> <p>第4回 具体的に帳簿をつける（1）日々の取引</p> <p>第5回 具体的に帳簿をつける（2）総勘定元帳と試算表</p> <p>第6回 具体的に帳簿をつける（3）決算整理と精算表</p> <p>第7回 具体的に帳簿をつける（4）決算書の作成</p> <p>第8回 財務諸表の眺め方</p> <p>第9回 おカネを“稼ぐ”ということ。金融とはなにか</p> <p>第10回 おカネを“回す”ということ。財務の仕事、経理の仕事</p> <p>第11回 財務諸表から会社のストーリーを読み解く</p> <p>第12回 まとめ。おカネと上手に付き合っていくために</p>				
事前・事後 学習	<p>教員が指定した参考文献の通読は必ずしも必須としないが、授業のより正確な理解に役立つ。</p> <p>授業のテーマに沿って課題の提出を求めることがある。課題の提出状況・内容は、成績評価の対象となる。</p>				
テキスト	なし				
参考文献	<p>「合格テキスト日商簿記3級 Ver.14」TAC、2023年2月</p> <p>島崎規子、鈴木勝浩等「はじめての簿記・会計学教室」中央経済社、2013年</p> <p>並木秀明「日商簿記3級をゆっくりていねいに学ぶ本」中央経済社、2019年</p>				

	小沢浩「簿記がわかつてしまう魔法の書」日本実業出版社、2019年
成績評価の基準	受講態度（出席、授業中の議論への貢献等）30% 課題等の提出状況・内容 30% 期末試験 40%
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして講義を行うことから、実践的教育に該当する。
備考欄	「日商簿記検定3級」の受験・合格を具体的な目標とする学生は、担当教官に個別に相談すること。